

# 「令和元年度 楠地区水害対策勉強会」が開催されました

1月27日(月) 庄内川河川事務所にて楠地区水害対策勉強会が開催されました。5学区の皆様に対し、庄内川の河川事業、防災への心構え等の説明を行いました。



■日時：令和2年1月27日(月) 14時～16時

■場所：庄内川河川事務所 会議室  
名古屋市 福德ポンプ所 他

■内容：令和元年度 楠地区水害対策勉強会  
①庄内川の河川改修、防災への心構えについて  
②名古屋市の浸水対策について(名古屋市)  
③庄内川河川事務所 災害対策室の見学  
④名古屋市福德ポンプ場の見学(名古屋市)

■参加者：名古屋市北区楠地区5学区(味鏡、西味鏡、楠、如意、楠西)の住民、名古屋市 他 計 約40名

■その他：昨年の台風19号では関東甲信・東北地方を中心に各地で甚大な浸水被害が発生したこともあり、熱心に説明を聞いていただきました。また、活発な意見交換が行われました。

## ■お伝えしたこと：

- ・これまでの河川事業により、庄内川の安全性は着実に向上しています。
- ・しかしながら、昨年の台風19号のような水害は庄内川でも起こりえます。行政主導の防災対策には限界があります。
- ・災害を自分事として認識することが重要です。水害リスク等災害について事前に知っておくことが重要です。
- ・「自らの命は自らが守る」という意識を持って、いざという時は自らの判断で避難行動をとってください。



## ■勉強会の様子

- ・庄内川の河川改修、防災への心構えを説明しました。
- ・平成12年に東海豪雨の被害状況の資料、自宅周辺のハザードマップ等の資料を真剣な表情で見られていました。



## ■災害対策室の見学

- ・地震、洪水等 有事の際の支部災害対策室の体制等について説明を行いました。
- ・災害対策室の大型スクリーン、カメラ映像等各種機器の説明を行いました。



## ■福德ポンプ所の見学

- ・名古屋市職員による案内の元、名古屋市が管理する福德ポンプ所で見学会が行われました。
- ・ポンプの役割、出水時の体制等について、名古屋市から説明がありました。